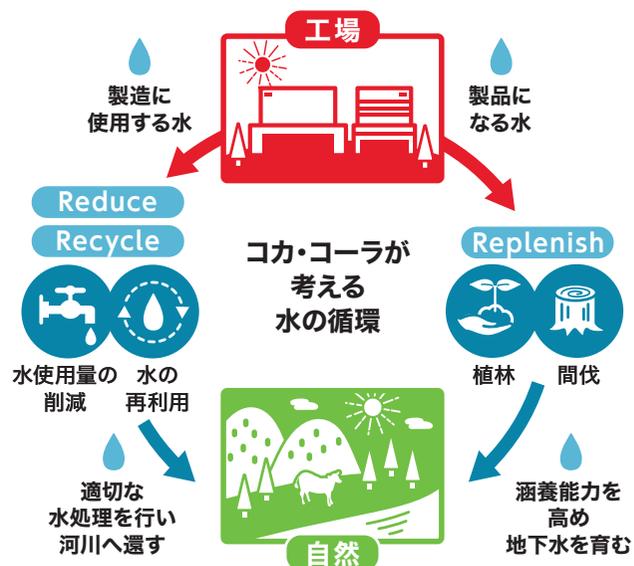


水資源保護活動の推進

人間をはじめとした全ての命の営みの根源にある水資源。その持続的な活用を図りながら、次世代の北海道のためにできることを推進しております。製品に使用した量と同等の水を自然に還元する取り組みもそのひとつです。指針は、3つの「R」。製造過程の水使用量を削減する「リデュース(Reduce)」。使う水を循環させる「リサイクル(Recycle)」。そして地域の水源涵養「リプレニッシュ(Replenish)」です。

札幌工場の水資源涵養率
540%以上



Reduce 水使用量の削減

製造時に使用する水の効率化を進めているPETボトル製品の製造ラインでは、エレクトロン・ビーム(電子線)を使った殺菌システムを取り入れています。この殺菌方法では、空のボトルの殺菌に薬剤を使用しないため、洗浄水の大幅な削減が可能となります。



エレクトロン・ビーム発生装置

Recycle 水の再利用

札幌工場の排水処理には、微生物の自己浄化サイクルを活性化させて余剰汚泥の発生量を抑える「ラグーン処理方式」を採用。国の排水基準を上回る自社基準を設けています。



ラグーンの様子



白旗山での森づくり
(植樹累計)

約**4,750**本

白旗山での森づくり
(協定面積)

約**1,063**ha

Replenish 水源域で森づくり

札幌工場で製造に使用している水は、札幌市清田区にある白旗山を水源とする、長い時間をかけて育まれた地下水です。私たちにとって白旗山一帯はとりわけ重要な森であり、札幌市との「環境事業に関する協定」に基づいて、長期にわたって白旗山の森づくりが進められています。

2023年10月にはグループ社員20名が、ミズナラの苗木200本を植林しました。



